

ここからの未来に！

30 回生 修学旅行俳句コンクール

平成28年10月
新川高等学校



新しい修学旅行では、正岡子規をはじめ、多くの俳人を輩出した俳都・松山へ出かけます。そこで、俳句を専門に学んでみえる和田始子先生に企画・立案していただき、その他いろいろお力を借り、「新川高校修学旅行俳句コンクール」を実現しました。

みなさんの思いが綴られた十七文字。はっとさせられるみなさんの感性に脱帽です。ここでは、思い出の写真と優秀作品を紹介しましょう。【広島平和記念公園は、佳作から選びました。】



金木犀香れば
こころも同じ国
(K・Y)



秋晴れの
海にうつりし
友のかお
(M・N)



秋晴や
安芸の宮島
輝けり
(K・T)



秋深む
暮れる夕日に
待つと言ひ
(S・S)



ひとふでを
増やしたくなる
秋の空
(K・M)



しまなみの
爽やかな風
身に受けて
(K・E)



平和の灯
消さないように
秋の雨
(M・S)



このすばらしい句に合う写真がなく、旅の「終わり」に「尾張」に向かう新幹線でのくつろぎの写真で許してください
(Y・K)



秋風や
旅の終りなき
うしろめ
(W・Z)



旅先の
最後の夕日
愁思かな
(K・H)

